

## 4種リーグU12(通称 全日リーグ)大会規定 (2026年)

1	大会名	4種リーグU12(通称 全日リーグ)
2	主催	一般社団法人 大阪府サッカー協会
3	主管	一般社団法人 大阪府サッカー協会 第4種委員会
4	特別協賛	(確認中)
5	協賛	(確認中)
6	第1回代表者会議	4月5日(日)北区民センター 18:00受付開始 18:30会議開始 4種リーグU12(全日リーグ)にエントリーしたチームは出席が必須。欠席は認められない。 欠席した場合は4種リーグU12(全日リーグ)への参加は認めない。
7	4種の集い (シーズン開会式)	5月10日(日)開催予定。4種の集い(シーズン開会式) Presented by YAMMAR 会場: YANMAR HANASAKA STADIUM(ヤンマーハナサカスタジアム) 4種委員会上期大会へエントリーしたチームは最上級学年チームの1チームの編成で必ず参加すること。AQUAチャレンジカップの予選試合が組み込まれてしまい、最上級学年での参加が困難な場合や参加出来ない場合には、(シーズン開会式)への参加チーム編成は自由(低学年での編成や女子選手参加を推奨)とする。 4種の集いへの参加は必須とする。欠席は認めない。
8	4種リーグ代表者会議 / 4種リーグ指導者講習会	開催日時、会場(場所)、講習会内容などの詳細は調整中。2026年9月頃開催予定。
9	参加費	15,000円×エントリーチーム数(参加費15,000円)(当協会の主催する競技会への参加費は不課税取引として取扱いとなる)
10	開催期間	4月エントリー 5月9日(土)~11月末日
11	途中参加資格	リーグ開始後のチーム途中参加は受け付けない
12	エントリー	エントリー方法(第4種委員会HPに掲載) 上期大会エントリー期間:【開始】3月23日(月)~【締切】4月7日(火) (#A)「(継続チーム)エントリーサイトの入力(新規チーム) 구글フォームの入力」と、(#B)「大会参加費の振り込み」を【締切】4月7日(火)までに行うこと。 締切日までに(#A)と(#B)の両方が完了していない場合は4種リーグU12への参加は認めない。 1チームエントリー(複数エントリーしていないチーム)の場合でもチーム内に大会に参加出来る最上級学年は1人以上以上することとする。 また、その他の学年は最大7名までとする。 複数エントリーを認める。複数エントリーチームの2ndから1stへの選手移籍は1回認めるが、その期間は各地区で決定する。(1stから2ndへの移籍は認めない) 複数エントリーの場合、1st2nd各チーム内に大会に参加出来る最上級学年は1人以上以上することとする。また、その他の学年は最大7名までとする。 1st2nd両方が全日中央大会への参加資格を有する。 複数エントリー用のメンバー表を2部を各地区代表者会議の際に用意。委員のサインを受け複写して使用すること。
13	選手の参加資格	エントリー欄に詳細を記載
14	次年度大会参加	今年度の各種大会に参加した中で不備等が多数発生したチームに対する次年度対応は4種委員会で協議してOFA執行部の審査を経た結果を告知する。 当該チームはその告知に従う義務を負う。
15	各大会への出場権(リンク)	①リーグ戦の試合結果をJFA全日本U-12サッカー選手権大会 大阪府地区予選 または 同 大阪府中央大会に反映する。 ②JFA全日本U-12サッカー選手権大会 大阪府中央大会 の出場権を獲得したチームは必ずベストメンバーで出場する事。 ③JFA全日本U-12サッカー選手権大会 大阪府中央大会 の辞退は認められない。 (他の大会、自チーム行事、遠征等)が大阪府中央大会と重複した場合は必ず大阪府中央大会を優先する事。 ④大阪府中央大会 出場に関し何等かの問題を生じたチームにはJFA諸規定に準じて第4種委員会で協議してOFA執行部の審査を経た結果を告知する。 当該チームはその告知に従う義務を負う。
16	ゾーン(地区)	8つの地区で行う (豊能 三島 北河内 中河内 大阪市 南河内 泉北 泉南)
17	部別	地区委員長の決定に従う。
18	会場責任者の役割	会場設営、備品の準備(本部、チームベンチ、テクニカルエリア等) 試合終了後、速やかにブロック長へ「試合結果」をメールにて提出する。試合会場で起きた重要事項があればそれもブロック長へ連絡すること。(当日の20:00まで) 試合会場の日程を円滑に進めるために、路上駐車やマナーの良くない応援をする方がいた場合、当該チームの当日責任者へ報告し、是正させることができる。 第4種委員会「観戦&応援ルール」に違反している場合はチームの当日責任者からマナー違反の保護者へ改善を早急に行ってもらうこと。 出来ない場合は大会規律委員会(#41)へ報告すること。 (落雷事故防止について)!
19	落雷、荒天等による 再試合	①落雷、荒天や選手の怪我などの場合運営側は人命最優先とし、それらにより試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。 ②その判断は会場責任者が行う。参加チームは会場責任者の判断に従うこと。試合中に中断した場合は残り時間を再試合として実施する。 ③再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、アウトオブプレーの場合はその場所から再開する。 ④再試合時の審判、出場選手は中断時と同一が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる。
20	肖像権	一般社団法人大阪府サッカー協会に認められた提携写真事業者によって撮影された写真が「参加者向け写真販売サービス(ウェブサイトを通じた通信販売を含む)」を行うことがある。 一般社団法人大阪府サッカー協会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。 また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。 これらの肖像権に関する事項は大会参加申込として大会エントリーをした時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する
21	撮影機器の使用	各会場の指示に従うこと。(鶴見人工芝はスタンド、J席、万博FA、四条駅FAはフェンスの外)ベンチを含むテクニカルエリア内での集合写真や試合中の撮影は認められない。
22	その他	①負傷者については各チームにて対応し、主催者、主管者及び会場責任者は一切の責任を負わない。大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していること。 ②関西Tリーグ等のトレンスマッチデー・トレンス活動日に関してブロック長は試合を組む際配慮すること。また該当チームの代表者は事前にブロック長へ連絡すること。 ③ベンチ入りスタッフは小学生年代の指導者として相応しい服装・態度であること。テクニカルエリア内でのテントの使用は認めるが、傘の使用は認めない。 ④リーグ戦期間内の最終月に日程が終了していない場合、リーグ戦最終月にブロック長が参加希望日に関わらず日程を組むことができる。 ⑤補聴器等の装具を着用しての試合出場について当該選手・大会主催者・審判団・対戦相手チームの四者間にて事前に打ち合わせする。四者全員が同意した場合にのみ補聴器等の装具を着用しての試合出場が認められる。(補聴器等の装具を着用しての試合出場について)⇒ ⑥帽子着用は競技規則によりGKにのみ認められFPの帽子着用は認められない。(JFA競技運営部確認済) OFA公式試合(全種別)においてFPの帽子着用は認められない。(OFA確認済) 帽子本体の安全性保障が担保出来ず その製造物の欠陥により損害(人身傷害または物損)が生じた場合の製造業者等の損害賠償責任についての追求が困難な為である。 ⑧4種リーグU12参加チームによる4種リーグ交流戦を実施することが出来る。本レギュレーションは適宜改訂、改善をしていくものとする
23	バス日	毎月バス日を前月の15日までにブロック長にメールを行うこと。(毎月バス出来る日程は2日以内とする。)日程配信者は前月25日までに日程を配信すること (遅れる場合はいつまでに配信するか連絡すること)ただし、バス日の提出日は地区委員長の指示に従うこととする。5月はアックアップの日程との関係上バス日はありません。
24	グラウンド提供日	グラウンド提供がないとリーグ運営が成り立ちませんので、これまで通り積極的なグラウンド提供をお願いします。

## 4種リーグU12(通称 全日リーグ)大会規定 (2026年)

25	競技規則	大会規定に記載のないものは(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。
26	競技方法	①試合時間は40分(20分-5分-20分)または30分(15分-5分-15分)とする ②20分ハーフの場合は原則土日で2試合、3連休の場合は3試合を認める。15分ハーフは土日で3試合、3連休は4試合を認める。 (ただし、4種委員会がやむを得ないと認めた場合はその限りではない。) ③20分ハーフの場合で3連休に3試合組む時は、3連休の1日で3試合を組むこと、3連休の中日に試合を入れることは出来ない。 ④15分ハーフの場合で3連休に4試合組む時は、3連休の1日で4試合を組むこと、3連休の中日に試合を入れることは出来ない。 ⑤リーグ戦が地区の代表を決める日程までに終了しなかった場合は、その時点での試合結果で決定することとする。(地区代表決定戦出場や中央大会進出など) ⑥リーグ戦の順位は勝ち点→当該結果→当該得失点→当該多得点→得失点→多得点→抽選の順
27	棄権 (書類不備) (審判不履行)	【選手証】【メンバー表】【申送り書】などの書類不備が生じた場合や参加資格のない選手を出場させた場合などのスコアは0-09とする。 ただし、これにより得失点などで順位に影響を及ぼす場合、棄権チームとのスコアは全て削除する。 審判不履行などの大会運営に重大な支障をきたしてしまった場合、その指導者のチームの試合を不戦敗(0-09)とする。 またこの結果で順位に影響のある場合は上記の通りとする。
28	試合の成立	試合開始時に6名以上とし、一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。ただし、試合中の負傷等による競技者が6人未満にならない限り試合は続行する。
29	リーグ試合数	年間14試合程度のリーグ戦を実施 暑熱時期(7月〜8月)を省いたスケジュールで実施。(ナイター等暑熱対策を講じた上での実施を推奨する)
30	大会期間中の選手移籍	①選手個人のチーム移籍自体を制限しない。チームを移籍して1人の選手が同一大会へ再度(2度以上)出場する事だけを承認出来ないものである。 ②移籍をした1人の選手が同一大会に移籍元と移籍先を併せて再度(2回以上)出場しない事が遵守されていれば規定違反ではない。 ③全日リーグ期間中に保護者転勤やその他理由での転居などの止む負えない理由での移籍は4種委員長が承認した後で出場出来る。 (状況に応じて審議必要となり審議した結果、転居であっても認められない場合もある) ④全日リーグを経た後の同一大会(全日地区予選や全日中央大会)と同じ選手(A)が(甲)チームにて所属して一度でも全日リーグに出場していたり全日地区予選で敗退している場合。その後同じ選手(A)が他地区の全日地区予選で勝ち上がっている(乙)チームや、全日中央大会へ進出している(丙)チーム等に移籍して同一大会(全日地区予選や全日中央大会)へ移籍後に再度(2度以上)出場する事は承認出来ない。選手移籍自体は制限しない。 ⑤全日リーグ期間中の移籍は③対応を必要とする。
31	メンバーチェック	①自チームの試合前の後半開始5分までに対戦相手同士による【選手証】【メンバー表】【申送り】【ユニホーム】のチェックを行う。 ②【選手証】とは電子登録証のカラーコピーであり、携帯電話などの画面での確認は不可とする。選手証、メンバー表と当日の選手の並びは全て同じになるように揃えておくこと。 ③審判割り当てが自チームの試合の前試合の場合で、相互チェックが難しい場合のみ本部で行う。当日事前に本部に連絡すること。 ④【申送り用事項】へのサインは本部がするため、相互チェック終了後の書類は本部に提出すること。 ⑤ユニホームに広告がある場合はJFAからの「回答書」を持参しておくこと。ユニホームのチェックは両チームが同色にならないようにする。(ユニホーム欄参照)
32	審判	①1人制で行う(主審・補助審判ともに有資格者が行うこと) ②ユース審判員に関しては協会派遣の場合及び、アクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審を認める。通常のユース審判員は補助審判のみを認める。 ③正規の審判服を着用すること(アンダーシャツ・アンダーショーツは同色または黒のみ認める) ④審判証(写真貼付き)、ワッペンの不携帯で審判を行うことはできない(カラー電子登録証可)携帯電話などの画面での確認を認める(審判証の画像など)
33	選手交代	①ベンチ入りメンバーは指導者3名と登録選手のうち16名のみとする。交代の人数制限はなしとする。 ②ベンチ入りメンバーの中で人数制限なく自由な交代ができる(主審の許可を得ず交代ゾーンから行う) ③GKが交代する場合は主審の許可を得る。交代して退くGKは、境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。代わりに入るGKは交代ゾーンからフィールドに入る。
34	警告・退場	①大会期間中、警告の累積が2回になった選手・指導者は次の1試合に参加できない。地区予選での警告は中央大会に持ち越さない。 ②退場を命ぜられた選手・指導者は最低でも次の1試合に参加できない。(その後の処置は第4種委員会、OFA執行部、OFA司法機関規律委員会にて審議して決定) ③試合中に負傷退場した場合、主審は別の選手を補充して8人にしてから試合再開しなければならない。(ただし、登録選手が8人の場合除く) ④地区大会での退場は中央大会に持ち越さないが、悪質な反則による退場に関してはその限りではない。(1発レッド)
35	会場責任者の役割	会場設営、備品の準備(本部、チームベンチ、テクニカルエリア等) 試合終了後、速やかにブロック長へ「試合結果」をメールにて提出する。試合会場で起きた重要事項があればそれもブロック長へ連絡すること。(当日の20:00まで) 試合会場の日程を円滑に進めるために、路上駐車やマナーの良くない応援をする方がいた場合、当該チームの当日責任者へ報告し、是正させる権限を有する。 (第4種委員会「観戦&応援ルール」)⇒ 第4種委員会「観戦&応援ルール」に違反している場合はチームの当日責任者からマナー違反の保護者へ改善を早急に行ってもらうこと。 出来ない場合は大会規律委員会(#41)へ報告すること。
36	ユニフォーム	①FP・GK(シャツ・ショーツ・ソックス)はそれぞれ別色の正副の2着を用意する。(JFAユニフォーム規定参照) ②ユニホームとはFPで番号以外は全く同じもの、GKで番号以外は全く同じものこととする。(ただし、メーカーロゴの変更や移動のみの場合はその限りではない) ③両チーム同色や区別が付きにくい場合は大会本部にて事前に両チーム立会いのもとユニフォーム各2組から、判別しやすい組合せを決めておき、主審の確認を持って決定とする。 ④カーフソックスを使用する場合は下にはくソックスはカーフソックスと同色のものとする。 ⑤ベンチ選手、指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ビブスや別色のウェアで対応すること) ⑥GKがFPとして出場する場合、または逆の場合において、他選手と重複しない固有番号であれば、正副の番号は一致しなくても出場を可とする。 ただし、事前にメンバー表にそれぞれの背番号を記載しておくこと。 ⑦FP・GK共にテーピング等をソックスの上に着用する場合は着用するソックスの部分と同色のみ認める。 ⑧FPの着用する手足の関節(局部)などを保護するために当てるゴムを織り込んだ布製の包帯(サポーター)とGKの着用するエルボーパット、ニーパッドはユニホームと同色でも可とする。 ⑨GK及びFPのビブス着用での試合出場は認めない。
37	アンダーシャツ	シャツの袖の下から見える場合袖の主たる色または裾と同色であること、また袖の主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
38	アンダーショーツ	ショーツ下から見える場合ショーツの主たる色または裾と同色であること、またショーツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
39	背番号・胸番号	シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が縞柄等であって明確な識別が困難なときには、台地を付ける)かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
40	ベンチ・テクニカルエリア	①チームベンチには指導者3名までと登録選手のうち16名のみとする。(合計19名以内とする) 指導者3名はテクニカルエリア内では責任ある態度で行動しなければならない。 ②指導者3名は競技中(試合中)にテクニカルエリアより主審の許可なくピッチ内への立ち入りは認められない。交代選手も同様とする。 (得点の喜びの際、ピッチへの立入は禁止する) ③テクニカルエリアからの戦術的な指示を伝える権限は、一度に1人だけに与えられている。ベンチ、テクニカルエリア内での集合写真や試合中の動画、静止画共に撮影は認められない。
41	大会規律委員会	①本大会においては、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。 ②会場責任者の指示に従わない場合。駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があった場合。レギュレーション違反があった場合。予期せぬ問題が発生した場合。 ③この場合、大会規律委員会にて対応方法を検討決定し、その対象チームは対応方法決定事項を遵守しなければならない。 なお、当該チームの保護者の行為も含まれるので、その啓発及び周知徹底の義務を有する。

